

a 学校教育目標		かしこく やさしく たくましく		b 経営理念 ミッション・ビジョン		【ミッション】(自校の使命) 児童の地域への愛着を育て、生きる力の基礎を育成する 【ビジョン】(自校の将来像) 児童が自分に自信を持ち、地域・保護者から信頼される学校													
評価計画												自己評価			改善方策		学校関係者評価		
	c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント				
						h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ					
確かな学力の育成	「見方・考え方」を働かせ、探求的に学習する力を育てる	○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○NRT・全国学テの課題を基にした授業改善 ○低学力層(50点以下)をターゲットにした学力補充・帯タイムの充実と情報共有	○単元テスト(国・算・理) ①正答率 全国平均以上 ②50%以下0人 ○国語科期末テスト ③初見問題 正答率 全国平均以上	①100% ②100% ③100%														
		○主体的・協働的な学びによる深い学びの実現	○「探究的・協働的で深い学び」を導く「問い」を追求し、「見方・考え方」を働かせる授業改善を進める。 ○授業をファシリテートする力を高め、思考につながるICT端末を効果的に活用し、「深い学び」や「個別最適な学び」を促す授業づくりを進める。	①R80においてめあてに沿った記述をする児童の割合70%以上 ②児童アンケート(集団アンケート『知』の項目)肯定的評価88ポイント以上	①100% ②100%														
豊かな心の育成	自らに自信をもち、積極的にチャレンジする気持ち、また他者と関わり合いながら、共に伸びようとする意欲を高める	○自分のよさに気づき新たな目標に向かう児童、他者と関わり合いながら共に伸びる児童の育成	○挨拶を核にした「沼北5」の徹底を図り、「自信(チャレンジする心)」と「かかわり合う力」を更に高める取組を進める。 ○様々な活動や行事に目標を持たせ、達成感を味合わせるとともに、「ほかほかの木」の取組を一層進める。	①挨拶についての児童アンケート肯定的評価の割合90% ②地域の方への挨拶についてのアンケート肯定的評価の割合90% ③「ほかほかの木」の取り組みで児童が月に2枚以上自分のことや友達について書く	100%														
		○地域の文化や伝統に誇りをもち、感謝する心の育成	○地域の文化や伝統に誇りをもち、感謝する心の育成	○地域連携・地域ゲストティーチャーを導入し、学んだことや感謝の気持ちを地域に還元したり伝えたりする。(年間3回以上)	100%														
健やかな体の育成	運動に親しみ、健康の保持増進に努める主体的な態度を養う	○運動に親しみ、体力を高めようとする態度の育成	○運動の楽しさを知り、自ら進んで運動に親しむ児童を育成する取組を継続する。特に「走力」を高める。	①単元に合わせた「ACP」実施率90%以上にする(水泳・体育参観日時期を除く) ②50m走の記録がアップした児童85%以上(上半期は前年度との比較、下半期は上半期との比較) ③児童アンケート「運動することが好き」肯定的評価の割合85%	100%														
		○自らの健康を保持・増進しようとする態度の育成	○健やかな体部を中心にして健康(生活習慣等)に関する日常生活の中での恒常的な取組を推進し、生活習慣アンケートや生活ふり返り週間を実施する。 ○西部共同調理場や学校栄養士と連携し健康を保持増進しようとする態度を育てる。	①毎日2回以上歯磨きをしている児童90% ②生活ふり返り週間中に、目標を児童自ら決定し、達成することができる児童の割合85%以上	①90% ②85%														
信頼される学校	家庭・地域との連携を大切にし、安心・安全な学校、信頼される学校を想像する	○地域と学校の連携・協働、そして地域の力を活用した学びの推進	○地域・保護者との連携を深め、協力体制を構築する。 ○児童の成長や教育活動の様子を積極的に地域・保護者に伝え、教育活動への理解を得る。	○保護者アンケート「学校の様子が学校・学級通信やトピックによってよく分かる。」肯定的評価	92%														
		○業務改善を進め、協働して課題解決に向かう教職員集団の確立	○職員減の中教職員の協働体制を更に確立するとともに、教頭を中心に業務改善を進め、「限られた時間の有効活用」を意識した、柔軟な働き方改革を充実させ、信頼される学校を創造する。	○職員の1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間 平均45時間以内100%	100%														

本年度の重点目標については◎印で示す。

【j: 自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

【l: 学校関係者評価 評価】
イ: 自己評価は適正である。 ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: 分からない。